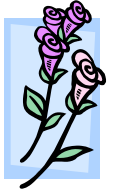


アトピー性皮膚炎



アトピー性皮膚炎とは、乾燥肌とアトピー素因(※)を持っている患者さんが、特徴のある部位に湿疹があり、良くなったり悪くなったりを繰り返す湿疹です。

※アトピー素因とは、ご家族あるいはご本人が、アトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、喘息を持っているということです。

1. **フィラグリン**:皮膚の表面にある角層(垢になって剥ける部位)は皮膚のバリア機能(外界からの細菌などの侵入を防ぐ)の役割をしています。フィラグリンは角層に大事な成分です。近年フィラグリンの遺伝子の異常が発見され、日本人のアトピー性皮膚炎の患者さんにおいて20%ぐらいにこの異常がみられると報告されています。

2. **症状**:かゆみがあり、皮膚の乾燥と、赤い湿疹が出現します。年齢によって湿疹の出来るところが違います。乳児は頭部、体幹、四肢。幼児は肘や膝の内側、首、おでこ。成人は広範囲にできます。

3. 治療:

(ア) **塗り薬【保湿剤】**:乾燥肌に対しては保湿剤を塗ります。保湿剤にも多種あり、患者様、季節に合わせて使い分けます。

(イ) **塗り薬【ステロイドとプロトピック(塗り薬の免疫抑制剤)】**:プロトピックは使用初めにヒリヒリすることがあるので、少しずつ使う必要があります。

(ウ) **飲み薬**:免疫抑制剤(ネオオーラル)が2008年から認可されました。

(エ) **光線療法**:ナローバンドUVBを当てることでかゆみも収まる場合があります。

4. 注意すること

(ア) **擦らない、叩かない**:かゆみが強いと擦ったり、叩いたりすることがありますが逆効果です。できれば、タオルなどで包んだ保冷剤などで冷やすと楽になります。

(イ) **入浴方法**:お風呂でゴシゴシするのは禁物です。優しく洗いましょう。

(ウ) **眼科受診**:白内障や網膜剥離などの目の症状を起こす可能性があります。できれば定期的に眼科受診をお勧めします。

(エ) **感染症**:乾燥肌によって、皮膚のバリア機能が低く、ヘルペスなどの感染症に罹りやすくなります。